



# 石井初制覇

柔道男子100キ超級



# 「本家」の威信守った

男子100キ超級決勝でウズベキスタンのタングリエフを破り金メダルを獲得、感極まる石井慧=15日、北京科技大体育館 (共同)

【北京15日共同】北京五輪第8日の十五日、柔道男子100キ超級で初出場の石井慧(21)＝国士舘大Ⅱが金メダルを獲得した。前日まで66キ級を制した内柴正人(旭化成)以外、メダルなしと不振だった日本男子だが、最重量級で二つ目の金メダルが生まれた。

日本男子が五輪の最重量級を制するのは、前回アテネ大会100キ超級の鈴木桂治(平成管財)に続き2大会連続。

石井は攻めの柔道を貫いた。4回戦の強豪トメノフ(ロシア)戦など5試合中、4試合で一本勝ちする見事な優勝だった。

石井は2年前、全日本選手権を史上最年少で制した逸材。180センチの階級では決して大きくないが、体格で上回る選手を切れるある技で破り、日本勢で今大会6個目の金メダルを手にした。

女子78キ超級の塚田真希(26)＝総合警備保障Ⅱは銀メダル。